

2020 年度全関東大会団体予選

実施細則

〈要項〉

1. 日時

令和 2 年 11 月 7 日土曜（男子）

令和 2 年 11 月 8 日日曜（女子）

10：00～競技開始

競技開始 30 分前以降の付け矢は禁止とします。

立順用紙はリーグ戦と同様に当日に立ち合いなどに提出してください。

2. 会場

加盟校道場

3. 競技内容

種目 弓道近的（36 cm 星的 射距離 28m）

競技方法

11月7日（土）～11月8日（日）

男子団体戦（予選） 各校 6 人 1 人 4 射（制限時間 9 分半）

女子団体戦（予選） 各校 3 人 1 人 4 射（制限時間 6 分）

※アリーナにて同中競射を行えないため、すべての予選参加校は四矢を引いたのちもう一度四矢を引いて記録を取る。

※決勝進出校は、予選の 4 本の的中をもって決める。ただし同中競射の必要が生じた場合は二度目に引いた四矢を一手、一本、一本の競射として参照し、決勝進出校を決めるものとする。決勝進出校数は 24 とする。

※シード校の決定において同中の場合は、トーナメント抽選会において抽選でこれを決定する。

※2 度目の四矢に移行するときに選手交代を認める。なお、立ち順移動・一度交代した選手の再出場は認めない。

※競技は両校が同時に引くこととする。

※一回目と二回目の間には最大 15 分のインターバルを置いても良い。

※一回目と二回目の間に選手交代をすることは可能とする。

<予選当日までの流れ>

競技・審判に直接には関わらないものの、便宜上、参加校の担当者が予選前日までに済ます必要のある事項をまとめる。

① 選手登録を行う。

下記の期日までに連盟ホームページの登録フォームから行う。

10月26日(月) 締め切り

② 所属グループの割り当てを受ける

団体戦参加登録後に東京都学生弓道連盟並びに関東学生弓道連盟が行う。2つ以上の参加校からなるグループを作成する。

③ 会場および方式を確定する。

競技の公平性を担保するため、グループ内の大学は同一期日にて協議を行うことを原則とする。

<競技方法総則>

①36 cm星的 射距離 28m 団体戦

(男子) 6人順立 1人4射 立時間制限9分30秒

(女子) 3人順立 1人4射 立時間制限6分

(¹行射開始の合図から落の4射目の離れまで。

但し、弦切れの場合(複数切れても)最大1分延長)

※アリーナにて同中競射を行えないため、すべての予選参加校は四矢を引いたのちもう一度四矢を引き、記録を取る。

※決勝進出校は、予選の4本の的中をもって決める。ただし同中競射の必要が生じた場合は二度目に引いた四矢を一手、一本、一本の競射として参照し、決勝進出校を決めるものとする。決勝進出校数は2校とする。

※時間切れの後の的中は無効とする。時間切れの判断基準は離れとする。

※追い越し発射は、その矢を無効として失中とする。「追い越し発射」とは、団体戦においては、自分のチームの前の選手より先に射離すことを意味する(大前の場合は二射目以後落

¹ 大前の胴造りが終了した時点で審判員が「行射を開始して下さい」と合図を行う。

より先に射離すこと)。

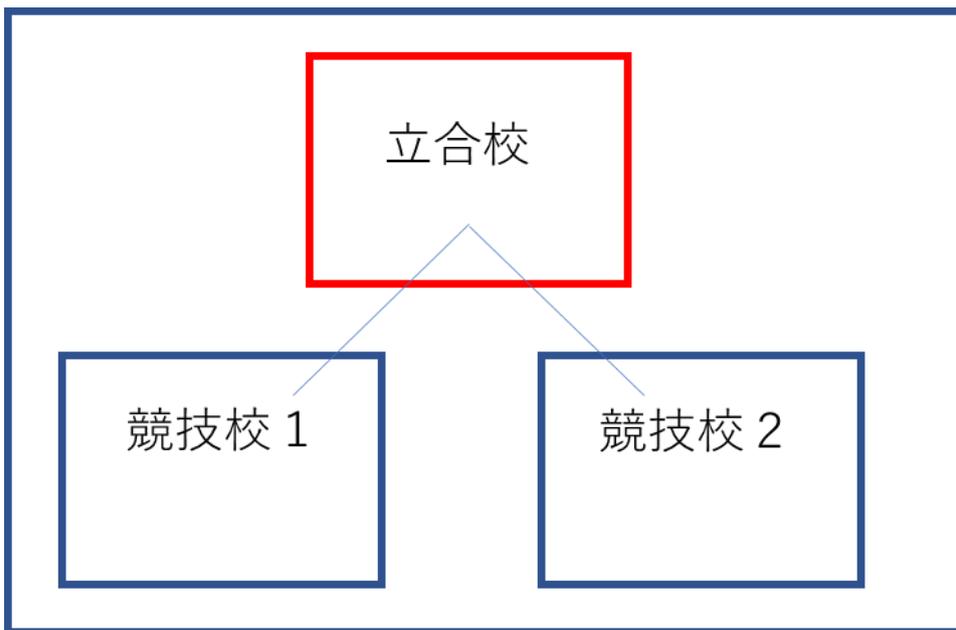
射場進行について

審判員の「本座にお進みください」で本座に進み、「射位にお入り下さい」の声とともに射位へ進む。そして、「行射を開始して下さい」の声とともに行射を開始する。(立制限時間は「行射を開始して下さい」の放送でスタート)

< 競技方法各則 >

原則として以下のような方法で予選を行う。

・リーグ戦のように、2大学がそれぞれ競技を行い相互監視し、さらに第三の大学が立ち合いとして記録を取る。



・一方の競技校が道場を貸し出せた場合は対面で行うことが的中の信憑性の担保の観点から望ましいが、オンラインで行うことも可能とする。

<通信機器利用の注意事項>

①下のリンク先にある動画（東京都学生弓道連盟作成）にて当日のスマートフォン・端末の使用方法を確認すること。

→→ <https://youtu.be/qjbJjn0Hx4E> ←←

②撮影機器は 2 台用意することが望ましい。一台は射場を撮影するもの、もう一台は的場を撮影するものと区別する。

③通信状況が途絶える可能性がある場合には、更に、あとから確認できる録画映像を撮影することが望ましい。

④ スマートフォン等はなるべく高い画質を維持するため外カメラを推奨する。

⑤ zoom アプリは通常利用する場合 40 分までしか連続して接続できないため、それを超えて利用する場合にはその都度接続し直す必要がある。時間制限が延長される（Standard Pro 以上のプランに加入している）アカウントを利用するか適直接続しなおすことが望ましい。

⑥ 通信機器のバッテリーと合わせて上記は事前に確認しておくことが望ましい。

<会場利用の注意事項>

① 的は綺麗なものを使用すること。ビニールの的紙も可能とするが、的中判断が難しいのでなるべく紙の的紙を使用することが望ましい。

② 当日は、立ち合いから直接に又は zoom の映像を通して射場、的場、使用的などに異常がないか点検を受ける。立ち合いは以下のような点を確認する。

- ・射場と的場に異常がないか
- ・的の高さは適切か
- ・的（的紙、的枠、候串等）に不正がないか

③ 競技中及び競技の合間における的の交換は立ち合いの判断に依る。

④ 当日に会場に入ることができる者は、団体の選手・補欠のほか介添え・監督・応援を含

む。ただし、会場となる道場及び立ち合いから別途指示がある場合はそれに従う。

- ⑤ その他「大会必携」の感染症対策を厳守すること。